

北熊本駐屯地 第8師団司令部

◇島嶼防衛体制を担う西部方面隊の中核。

機動力や警戒監視能力を備える即応機動部隊からなる「機動師団・旅団に改編」。第8師団は、先駆けて「機動師団」化される。

◇電子戦部隊新設

2021年3月陸上自衛隊の「電子戦」専門部隊が健軍駐屯地で発足し、電磁波は宇宙、サイバーと並ぶ新たな軍事領域。陸自は九州・沖縄を中心に5ヶ所の電子戦部隊をさらに増設。司令部を朝霞駐屯地（東京都練馬区など）に置く。

島嶼防衛の司令部



相浦駐屯地

◇2018年3月発足。2400人規模で配置。2023年度末に竹松駐屯地（大村市）に発足させ3000人規模に。

◇日本版海兵隊と言われる。島嶼防衛において統合機動防衛力に基づき、島嶼奪回能力を保持し、水陸両用作戦任務に対応「奪回」の任務を担う。

水陸起動団

海上自衛隊・陸上自衛隊と、アメリカ海軍・海兵隊・空軍が参加し、2022年2月3日（木）から2月7日（月）まで

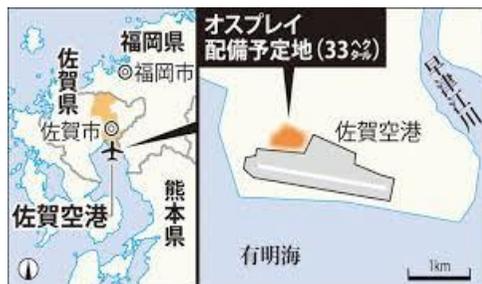


日米共同演習「ノーブル・フュージョン2022」を実施。2022年7月陸上自衛隊所有のオスプレイが、長崎県内に初飛来し、水陸起動団と訓練



佐賀空港

オスプレイ配備予定



島嶼部等への迅速かつ効率的な輸送をするため、V-22 オスプレイ17機と目達原駐屯地に所在するヘリコプター約50機を加えた合計約70機、配置予定。地元、漁協は反対をしているため、現在、木更津駐屯地に暫定配備されている。



出典：陸上自衛隊 web サイト

<http://www.mod.go.jp/gsdf/about/structure>